

■発行／南方熊楠顕彰会

〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913  
http://www.minakata.org/ 〈E-mail〉minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠…………… 20

## 鳥居小考 / 小鳥居考

文／菊地 暁（京都大学人文科学研究所）

酉年生まれということで新春記念講演の大任を仰せつかったものの、困ったことに、『十二支考』はなかなかの難物だ。一読された方々にはご首肯いただけると思うが、干支はきっかけに過ぎず、熊楠の奔放な叙述はジェットコースターのように錯綜する。田辺市出身の地理学者・小川琢治も「何しろ長すぎて論旨がさっぱり判らぬではないかと」とぼやいたほどだ（貝塚茂樹「郷土の先覚：亡父小川琢治との関係」『南方熊楠全集月報』1号、1971年）。要約紹介など無理な相談、この鳥頭な報告者のなせる技ではない。

そこで、「鳥」ならぬ「鳥居」について考えてみることにしたい。神社のシンボルとされる鳥居は、神鳥たるニワトリの止まり木に由来すると熊楠も指摘する（大正13年11月29日付矢吹義夫宛南方熊楠書簡）。さらに、何につけても色事を交える熊楠一流の博識&読者サービスは、当然のように鳥居をネタにする。「女は年をとるほど、また場数を経るほど彼処が広くなる。西洋人などはことに広くなり、吾輩のなんかを持って行くと、九段招魂社の大鳥井（靖国神社の大鳥居）のあいだでステッキ一本持ってふりまわすような、何の手ごたえのなきようなものが多い」（大正14年1月31日付矢吹義夫宛書簡、いわゆる『履歴書』）。西洋女と日本男の営みを、大鳥居とステッキに例えるという離れ業だ。ちなみに、靖国の大鳥居（25m）は当時日本最高だったが、現在はその座を熊野本宮大社の鳥居（33.9m）に譲っている。

ところで、この鳥居の小型のもの、通称「小鳥居」が、道端に置かれたり描かれたりすることによって立小便を抑止するという特異な効果を生み出している。これについて、報告者は担当講義受講生千人あまりの協力を得て実態を調査した。その結果、京都では祇園・先斗町・木屋町などの繁華街に中心に市内各区で発見され、さらには近畿地方各府県、首都圏や西日本の都市部にも広がっていることが確認された。形状は平面と立体に大別され、立体は既製の奉納用小鳥居を転用したもののほか、木、ビニールなど様々な素材による自製品があった。平面は、マジックやペンキで描いたもの、印刷物をラミネート加工したものなどがあり、こちらにも既製品がある。一部の小鳥居には塩、水などが供えられ、一種の「祭祀」まで行われているらしい。

あらためて考えてみると、小鳥居は日本宗教のユニークネスを示す恰好の事象のように思われる。というのも、宗教シンボルが立小便抑止などという些事に奉仕する例は、小鳥居以外、寡聞にして知られていないからだ。神道の「カミ」のみが、このささやかな、にもかかわらず、生活の中で相応に切実な願いを聞き入れるという事実は、日本の「カミ」の特質として留意されるべきだろう。

熊楠はこうした日本の「カミ」をどう考えていたのだろうか。熊楠は神社合祀反対運動において、神社が自然環境と伝統文化



小鳥居（京都市左京区吉田上阿達町）

の結節点であることを説き、その重要性を執拗に訴えているが、それに比べると「神道」そのものはあまり関心がなく、「神主」にいたっては神社を損なう輩としてやり玉に挙げられさえする。そのなかで、いわゆる『南方二書』（1911）の一節が熊楠の神道観を端的に示すものとなろう。

「神道は宗教に相違なきも、高語論議をもって人を屈従させる顕教にあらず。言詞杜絶、李白も賦する能わず、公孫竜も弁ずる能わざるの間に、心底からわが邦万古不変の国体を一度に感じ、[...]みな本邦の原人より統を引ききたるものたることを不可言不可説の間に感ぜしむるの道なり。故にその教は、古え多大繁雑の齋忌taboo systemをもって成れる慣習条々（不成文律）を具したるのみ、外に何というむつかしき道義論、心理論なし」（明治44年8月29日付松村任三宛書簡）。神道とはタブーのシステムであり、ことさらに言葉にすることは無意味というわけだ。

小鳥居に宿り立小便を抑止する「カミ」は、たしかにその一端なのかもしれない。

## CONTENTS

生誕150周年寄稿 玉井洋司・飯倉照平・中瀬喜陽	…2
南方熊楠翁生誕150周年記念事業	…3
第27回南方熊楠賞 受賞者決まる	…4
第35回 熊楠をもっと知ろう！講演会 中島敦司	…5
第35回 熊楠をもっと知ろう！講演会 広川英一郎	…9
第35回 熊楠をもっと知ろう！講演会 伊藤慎吾	…11
第33回 熊楠をもっと知ろう！講演会 飯倉義之	…14
ロンドン調査 岩淵幸喜	…16
ラジオウォーク「闘雞神社・南方熊楠の足跡を歩く」	…20
南方熊楠と同級生たち 郷間秀夫・杉山和也	…24
南方熊楠研究会 年次大会開催について	…29
書簡の杜（十六） 岸本昌也	…30
新刊紹介 志村真幸	…32
新資料紹介 田村義也	…34
「熊楠」生物覚え書 ② 土永知子	…36
熊楠メモランダム 田村義也	…37